

平成28年度
基本データ分析による
自己点検評価書

平成29年3月
国立大学法人 金沢大学

目 次

I. 基礎項目

① 専任教員数	1
② 専任教員一人当たりの学生数	1
③ 男女別本務教員数	2
④ 入学志願者及び入学状況	3
⑤ 標準修業年限内卒業・修了者数	3
⑥ 就職状況	4
⑦ 資格取得状況	4

参考資料 国立大学法人金沢大学における全学の自己点検評価実施要項・・・5

1-1 自己点検評価項目（基礎項目）

① 専任教員数

評価基準	専任教員数等が適正であるか。 《設置基準で定める数以上》
点検・評価結果	全ての学域，研究科において，専任教員数，研究指導教員数，教授数及び実務家教員数が評価基準を満たしており，適正である。
優れた点	
改善を要する点	特になし

② 専任教員一人当たりの学生数

評価基準	専任教員一人当たりの学生数が適正であるか。 《専任教員（現員）一人当たりの学生数（現員）が，設置基準上の専任教員一人当たりの学生数（収容定員）以下》
点検・評価結果	全ての学域，研究科において，専任教員（現員）一人当たりの学生数（現員）が評価基準を満たしており，適正である。
優れた点	
改善を要する点	特になし

③ 入学志願者数及び入学状況

<p>評価基準</p>	<p>【志願状況】 志願状況が良好であるか。 ≪ 学士課程：志願倍率が3倍以上 ≫ ≪ 大学院課程，専門職学位課程：実質倍率が過去5年平均以上 （法務研究科については，実質倍率が2倍以上） ≫</p> <p>【入学状況】 入学状況が良好であるか。 ≪ 入学定員充足率が70%以上130%未満 ≫</p>
<p>点検・評価結果</p>	<p>【志願状況】 < 学士課程 > 人間社会学域における編入学を除き，各学域において，評価基準を満たしており，良好である。</p> <p>< 大学院課程（修士課程，博士前期課程，博士後期課程，博士課程） > 全ての研究科において，評価基準を満たしており，良好である。</p> <p>< 専門職学位課程 > 法務研究科については，評価基準を満たしていない。</p> <p>【入学状況】 < 学士課程 > 人間社会学域における編入学を除き，各学域において，評価基準を満たしており，良好である。</p> <p>< 大学院課程（修士課程，博士前期課程，博士後期課程，博士課程） > 人間社会環境研究科（博士後期課程）以外の研究科については，評価基準を満たしており，良好である。</p> <p>< 専門職学位課程 > 法務研究科以外の研究科については，評価基準を満たしており，良好である。</p>
<p>優れた点</p>	<p></p>
<p>改善を要する点</p>	<p>以下の部局においては，評価基準を満たすための取組が求められる。</p> <p>【志願状況】 ・ 人間社会学域（編入学） ・ 法務研究科</p> <p>【入学状況】 ・ 人間社会学域（編入学） ・ 人間社会環境研究科（博士後期課程） ・ 法務研究科</p>

④ 収容定員充足率

評価基準	収容定員の充足状況が良好であるか。 ≪収容定員充足率が90%以上≫ ≪休学者等を控除した収容定員充足率が110%未満≫
点検・評価結果	<p><学士課程> 全ての学域において、評価基準を満たしており、良好である。</p> <p><大学院課程（修士課程、博士前期課程、博士後期課程、博士課程）> 医薬保健学総合研究科（修士課程）及び自然科学研究科（博士前期課程）以外の研究科については、評価基準を満たしており、良好である。</p> <p><専門職学位課程> 法務研究科については、評価基準を満たしていない。</p>
優れた点	
改善を要する点	以下の部局においては、評価基準を満たすための取組が求められる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬保健学総合研究科（修士課程） ・ 自然科学研究科（博士前期課程） ・ 法務研究科

⑤ 標準修業年限内卒業・修了者数

評価基準	標準修業年限内の卒業・修了状況が良好であるか。 ≪学士課程：標準修業年限内卒業率が85%以上≫ ≪大学院課程、専門職学位課程：標準修業年限内卒業率が80%以上≫
点検・評価結果	<p><学士課程> 人間社会学域以外の学域については、評価基準を満たしており、良好である。</p> <p><大学院課程（修士課程、博士前期課程、博士後期課程、博士課程）> 人間社会環境研究科（博士後期課程）、自然科学研究科（博士後期課程）及び医薬保健学総合研究科（博士後期課程、博士課程）以外の研究科については、評価基準を満たしており、良好である。</p> <p><専門職学位課程> 法務研究科については、評価基準を満たしていない。</p>
優れた点	以下の部局においては、標準修業年限内卒業・修了率が極めて高い水準となっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬保健学域（93.6%） ・ 医薬保健学総合研究科（修士課程）（94.1%） ・ 自然科学研究科（博士前期課程）（94.5%）
改善を要する点	以下の部局においては、評価基準を満たすための取組が求められる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人間社会学域 ・ 人間社会環境研究科（博士後期課程） ・ 自然科学研究科（博士後期課程） ・ 医薬保健学総合研究科（博士後期課程、博士課程） ・ 法務研究科

⑥ 就職状況

評価基準	就職状況が良好であるか。 ≪学士課程：就職率が全国平均以上≫ ≪大学院課程：就職率が92.5%以上≫
点検・評価結果	<学士課程> 評価基準をわずかに下回る理工学域以外の学域については、評価基準を満たしており、良好である。 <大学院課程（修士課程、博士前期課程、博士後期課程、博士課程）> 人間社会環境研究科（博士前期課程、博士後期課程）以外の研究科については、評価基準を満たしており、良好である。
優れた点	以下の部局においては、就職率が極めて高い水準となっている。 ・医薬保健学域（99.5%） ・医薬保健学総合研究科（修士課程）（100.0%） ・自然科学研究科（博士前期課程）（99.2%） ・医薬保健学総合研究科（博士課程）（100.0%）
改善を要する点	以下の部局においては、評価基準を満たすための取組が求められる。 ・理工学域 ・人間社会環境研究科（博士前期課程、博士後期課程）

⑦ 資格取得状況

評価基準	資格取得状況が良好であるか。 ≪医療関連国家資格：取得率が90%以上≫ ≪司法試験：合格率が全国平均の1/2以上≫
点検・評価結果	<医療関連国家資格> 全ての資格について、評価基準を満たしており、良好である。 <司法試験> 評価基準をわずかに下回っている。
優れた点	以下の資格については、取得率が極めて高い水準となっている。 ・医薬保健学域 医師（95.0%） 保健師（100.0%） 理学療法士（100.0%） 作業療法士（100.0%） 薬剤師（97.1%） ・医薬保健学総合研究科 助産師（100.0%）
改善を要する点	以下の部局においては、評価基準を満たしていない資格について、評価基準を満たすための取組が求められる。 ・法務研究科（司法試験）